

令和4年度

第2回 帯広市地域公共交通活性化協議会（書面協議）次第

令和4年7月7日

1 議事

【報告事項】

- 報告第1号 令和3年度事業報告について
- 報告第2号 令和3年度決算報告について
- 報告第3号 令和3年度監査報告について
- 報告第4号 令和3年度帯広市地域公共交通網形成計画に係る事業実施状況について
- 報告第5号 計画策定調査事業に係る国庫補助金交付決定について

【協議事項】

- 議案第1号 帯広市地域公共交通網形成計画の総括について
- 議案第2号 令和4年度事業計画案について
- 議案第3号 令和4年度収支予算案について

《配付資料》

- 資料1 委員名簿
- 資料2 協議事項説明書
- 資料3 令和3年度事業報告
- 資料4 令和3年度収支決算書
- 資料5 令和3年度会計監査報告書
- 資料6 令和3年度帯広市地域公共交通網形成計画に係る施策の実施状況
- 資料7 令和4年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業）交付決定通知書
- 資料8 帯広市地域公共交通網形成計画の総括について
- 資料9 帯広市地域公共交通網形成計画 事業進捗状況一覧表
- 資料10 帯広市地域公共交通網形成計画 指標達成状況
- 資料11 令和4年度事業計画（案）
- 資料12 令和4年度収支予算書（案）

令和4年度 帯広市地域公共交通活性化協議会 構成員名簿

所 属	職 名	氏 名	備 考
北海道大学大学院 公共政策学連携研究部	教授	岸 邦宏	アドバイザー
十勝バス株式会社	取締役執行役員 事業本部長	長沢 敏彦	
北海道拓殖バス株式会社	業務部長	小森 明仁	
大正交通有限会社	代表取締役	道見 誠一	
毎日交通株式会社	専務取締役	千葉 和也	
十勝地区バス協会	事務局	近藤 薫	
十勝地区ハイヤー協会	専務理事	塚本 俊二	
帯広市町内会連合会(住民代表)	副会長	齊藤 雅俊	
北海道運輸局 帯広運輸支局	首席運輸企画専門官	酒井 啓友	
北海道地方交通運輸産業労働組合協議会 十勝地区交通運輸産業労働組合協議会	議長	久保 真司	
北海道 十勝総合振興局 地域創生部 地域政策課	主幹	山田 貴弘	監査
帯広開発建設部 道路計画課	課長	大江 祐一	
帯広警察署 交通第一課	課長	桐山 知彦	
帯広市都市環境部	部長	和田 亮一	会長
帯広市経済部観光交流室	室長	加藤 帝	
帯広市学校教育部教育総務室	室長	村木 章純	
帯広市市民福祉部地域福祉室地域福祉課	課長	永田 敏	
帯広市市民福祉部福祉支援室介護高齢福祉課	課長	佐藤 克己	
帯広市経済部商業労働室商業労働課	課長	鳥本 貴敬	
帯広市都市環境部環境室環境課	課長	西島 新一	

協議事項説明書

1 報告事項

(報告第1号) 令和3年度事業報告について

資料3「令和3年度 事業報告」をご覧ください。

昨年度は2回の協議会を実施しております。

第1回協議会では、令和3年度の事業計画と帯広市地域公共交通網形成計画（以下、「網形成計画」とします。）に基づく施策や取組について協議・確認を行いました。

第2回協議会では、網形成計画の計画期間が令和3年度末に終了することから、計画期間終了後の方針と、網形成計画の次期計画として「帯広市地域公共交通計画」を策定することについて協議・確認を行いました。

このほか、本協議会実施事業として、令和4年2～3月に中高生、転入者及び高齢者を対象として、バス利用の動機付けを目的としたモビリティ・マネジメント小冊子の作成・配布を行いました。

(報告第2号) 令和3年度決算報告について

資料4「令和3年度 収支決算書」をご覧ください。

令和3年度の収入決算額については、負担金110,000円、雑入として前年度繰越金9,326円、計119,326円となっています。

支出決算額については、事業費としてモビリティ・マネジメント小冊子作成のための用紙購入費63,657円、事務費として郵送料及び口座振込手数料1,048円、計64,705円となっています。

収入決算額119,326円から支出決算額64,705円を差し引いた残額54,621円が、令和4年度繰越金となっています。

(報告第3号) 令和3年度監査報告について

資料5「会計監査報告書」をご覧ください。

令和3年度の当協議会の会計処理について、監査委員である十勝総合振興局地域政策課 山田主幹に監査いただき、適正であることをご確認いただいています。

(報告第4号) 令和3年度帯広市地域公共交通網形成計画に係る事業実施状況について

資料6「令和3年度 帯広市地域公共交通網形成計画に係る施策の実施状況」をご覧ください。

計画では4つの基本方針を掲げており、それぞれに目標達成のための施策が設けられています。令和3年度の実施状況については資料記載のとおりです。

(報告第5号) 計画策定調査事業に係る国庫補助金交付決定について

資料7「令和4年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業）交付決定通知書」をご覧ください。

4月19日実施の第1回協議会（書面協議）にて、帯広市地域公共交通計画策定調査事業の実施にあたり国庫補助金を活用することについて確認・決定したことから、事務局において国庫補助金交付申請を行い、申請のとおり交付決定されましたので、ご報告いたします。

※ご参考まで、交付申請書（事業実施内容記載箇所抜粋）を添付しておりますので、ご確認ください。

2 協議事項

(議案第1号) 帯広市地域公共交通網形成計画の総括について

資料8「帯広市地域公共交通網形成計画の総括について」をご覧ください。

網形成計画では、資料8（1）に記載のとおり、誰もが利用しやすく持続可能な公共交通網の形成を目的として、4つの基本方針、7つの基本目標と、目標達成のための各種施策を位置づけており、平成29年度から令和3年度までの計画期間において、交通事業者をはじめとする関係機関と連携しながら、様々な取り組みを進めてきました。

目標達成のための施策の実施状況については資料8（2）に、施策メニュー別・年度別の実施・進捗状況については資料9「帯広市地域公共交通網形成計画 事業進捗状況一覧表」に記載しています。

これまで、計画に掲げるすべての施策メニューに着手し、継続実施している取り組みも含めて概ね実施済みとなっており、基本方針及び基本目標の達成に向けて進捗しているものと考えます。

一方で、「乗り継ぎ拠点の設置」、「生活交通におけるバスとタクシー・自転車・JRとの連携」については、導入・実施に向けた検討を進めてきましたが、現時点では実施に至っていません。

目標の達成状況の指標となる評価指標について、資料8（3）に達成状況の概要、資料10「帯広市地域公共交通網形成計画 評価指標達成状況」に年度別の詳細を記載しています。

指標（7）「ノーカーデー参加者数」については、平成30年度を除きすべての年度で目標値を上回っており、ノーカーデーの参加を通じ、少しずつ自家用車の利用を控え、公共交通機関などの利用への行動変容につながってきているものと評価できます。

しかし、指標（１）～（６）については、新型コロナウイルス感染症の影響による公共交通利用者的大幅な減少を受け、すべて目標値を大幅に下回る結果となりました。感染症の今後の影響について、現時点では先行きが見通せない状況ではありますが、感染症拡大防止に努めながら、アフターコロナにおける公共交通の利便性向上と利用促進に向けた取り組みについて、協議・検討を進めていく必要があるものと考えます。

なお、新型コロナウイルス感染症の発生以前の直近年度である令和元年度の指標では、（１）「市内完結路線における路線バス年間利用者数」、（４）「バスパック年間利用者数」が目標値を上回っているほか、（６）「70歳以上の路線バス利用者数」についても概ね目標値に近い数値となっており、計画に基づく取組の成果が表れているものと評価できます。

一方で、（２）「通学定期券年間販売数」、（３）「あいのりタクシー・バス年間利用者数」が目標値を下回っていることから、特に高校生及び市内農村部における利用促進に向けた取り組みについて、協議・検討を進めていく必要があるものと考えます。

（議案第２号）令和４年度事業計画案について

資料 11「令和４年度 事業計画（案）」をご覧ください。

今年度は、国庫補助金を活用し、地域公共交通計画の策定に向けた交通実態等の調査及び計画素案の作成を予定しています。

このほか、昨年度に引き続き、市内中高生・転入者・高齢者に向けたモビリティ・マネジメントの取り組みとして、小冊子の作成・配布を予定しています。

今年度の協議会開催予定は資料記載のとおりです。なお、次回協議会は7月22日に開催し、市内公共交通の維持確保に向けた取り組みと計画策定調査業務委託内容について協議する予定です。

（議案第３号）令和４年度収支予算（案）について

資料 12「令和４年度 収支予算書（案）」をご覧ください。

令和４年度の収入予算額について、負担金として 2,676,000 円、補助金として 1,042,625 円、前年度繰越金として 54,621 円、計 3,773,246 円を計上しています。負担金の負担内訳及び活用する国庫補助金については、備考欄に記載のとおりです。

支出予算額について、運営費中、会議費として 110,540 円、事務費として 65,706 円、計 176,246 円を計上、事業費として、地域公共交通計画策定調査委託料を 3,498,000 円、バス利用の動機付けを図るモビリティ・マネジメント小冊子作成に要する経費を 99,000 円、計 3,597,000 円を計上、支出予算合計額として 3,773,246 円を計上しています。

【回答書記載事項】

以上、報告事項 5 件に対するご意見等、及び協議事項 3 件に対する承認または不承認並びにご意見等について、別紙回答書により 7 月 15 日（金）までにご報告くださいますよう、お願い申し上げます。

令和 3 年度 事業報告

令和 3 年

- 8 月 1 0 日 第 1 回協議会（書面協議）
- ・ 令和 2 年度事業報告・決算報告・監査報告
 - ・ 令和 3 年度事業計画（案）・収支予算（案）
 - ・ 帯広市地域公共交通網形成計画に基づく事業実施内容について

- 1 2 月 2 3 日 第 2 回協議会
- ・ 帯広市地域公共交通網形成計画の期間終了後の方針について
 - ・ 地域公共交通計画の策定について

令和 4 年

- 2 ～ 3 月
- 中高生向けモビリティ・マネジメント（MM）小冊子作成・配布
 - ・ 市内中学 3 年生及び高校 1、2 年生への配布
 - 転入者向け MM 小冊子作成・配布
 - ・ 戸籍住民課窓口にて配布
 - 高齢者向け MM 小冊子作成・配布
 - ・ 高齢者福祉課窓口及び地域交流サロン、地域包括支援センター等を通じて配布

令和3年度 収支決算書

収入の部

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	増 △ 減	備 考
補助金	0	0	0	
負担金	110,000	110,000	0	バス事業者負担金 54,000円 帯広市負担金 56,000円
雑入	9,326	9,326	0	前年度繰越金 9,326円
計	119,326	119,326	0	

支出の部

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	増 △ 減	備 考
事業費	105,380	63,657	△ 41,723	MM小冊子作成用紙等
事務費	13,946	1,048	△ 12,898	郵送料 振込手数料
計	119,326	64,705	△ 54,621	

収入額 119,326円 - 支出額 64,705円 = 繰越額 54,621円

会 計 監 査 報 告 書

令和3年度帯広市地域公共交通活性化協議会の会計について、
関係帳簿及び収入・支出証書の監査を行った結果、その処理が
いずれも適正であることを認めます。

令和4年5月16日

監査委員 北海道十勝総合振興局 地域創生部

地域政策課 主幹 山田 貴弘



令和3年度 帯広市地域公共交通網形成計画に係る施策の実施状況

※資料中、《継続》は過年度から継続実施している取組を表す。

基本方針1 公共交通のサービスレベル向上

1 市内バス路線及びダイヤの見直し

路線名	運行事業者	実施内容
おでかけ楽々便（おおぞらいナー）	十勝バス	令和2年度の実証結果や利用客の意見・要望等を踏まえ、運行内容を見直して実証運行を継続。 (1)R3.5.24 実施分 ● 大空町内の乗降場所をバス停「大空7丁目」から任意の場所で可能に ● 乗降場所に「帯広の森はぐくむ」、「北斗病院」、「イトーヨーカドー」を追加 (2)R3.7.31 実施分 ● 乗降場所に「畜産大学入口」、「いのちの木クリニック」を追加
循環（帯広記念病院）線ほか	十勝バス	新型コロナウイルス感染症による利用者減少により悪化した運行収支を改善するため、路線の大幅見直しを実施。（R3.7.1 実施） 《変更内容》 ① 運行系統廃止（8系統） 循環（帯広記念病院）線／西地区コミュニティバス／学園通線／スクールバス5系統 ② 減便（2系統） 音更線／大空団地線（国道38号線経由） ③ 運行系統新設（1系統） 大空団地線（白樺通経由） ④ ダイヤ改正（6系統） 芽室線／広尾線／環状線／幕別線／音更線／大空団地線（国道38号線経由）
（帯広厚生病院経由便）	拓殖バス	運行経路及びダイヤ等について検討中。《継続》

※帯広市を含む複数市町村を運行する路線のうち、主に市外運行部分に関わる変更については記載省略。

2 定時性の確保等に向けた取り組み

- ・冬期間における道路管理者への運行経路上の除雪等対策の要望や、遅延発生路線への代替便による対応を実施。《継続》【十勝バス・拓殖バス】
- ・冬期間の通勤時間帯における渋滞緩和に向けた、エコ通勤やノーカーデーの取組を実施。《継続》【十勝バス・拓殖バス】

3 バス待合環境の改善に向けた取り組み

- ・路線バス沿線の薬局への時刻表の配布・設置を実施。【十勝バス】
- ・R3.7.1ダイヤ改正に合わせ、バスターミナル内の看板・案内板を更新。【十勝バス】
- ・帯広西3・9スクエアビル内へのバス待合スペース設置【十勝バス・拓殖バス】

4 ICカードシステムの導入（キャッシュレス決済に関すること）

- ・ジョルダン株式会社のスマホアプリによる「帯広市内 1 DAY 乗り放題券」、「十勝 2 DAY 乗り放題券」、「日帰り路線バスパック（ばんえい競馬・おびひろ遊湯）」の販売を開始。【十勝バス】
- ・キャッシュレス決済事業者が実施するポイント還元率アップキャンペーンへの参画による利用促進。【拓殖バス】

基本方針2 生活と交通の拠点の整備

2 デマンド型交通の利便性向上

- ・大空地区におけるデマンド型乗合タクシー「おでかけ楽々便（おおぞライナー）」の実証運行を継続実施。これまでの実証結果や利用者意見を踏まえた運行範囲拡大のほか、AI オンデマンドシステム導入に向けた検討・準備を実施。【十勝バス】

3 多様な移動手段との連携の検討

- ・十勝圏二次交通活性化推進協議会における取組として、観光面における路線バスとタクシーが連携したサービス（バス&タクシーパック）を実施。《継続》【十勝バス】
- ・路線バスへの自転車積載に関する情報収集・検討を実施。【拓殖バス】

基本方針3 市民だけでなく、来街者にも分かりやすい情報提供の実施

1 バスロケーションシステム等の普及

- ・Google マップにおける遅延・運休などのリアルタイム運行情報の掲載や、バスターミナルおびくる等のデジタルサイネージ上での運行情報の PR を実施。【十勝バス・拓殖バス】
- ・バスロケーションシステム「拓バスマップ」及び普段利用するバス停へのバス接近情報が表示される「バス停時刻表^{プラス} +」の提供を開始。【拓殖バス】

2 分かりやすい時刻表の作成

- ・R3. 7. 1 実施のダイヤ改正に合わせ、時刻表を見やすく更新するとともに、バス停留所に掲載している時刻表のデザインを刷新。【十勝バス】
- ・ワクチン接種により利用の増えた国立帯広病院へのアクセス専用時刻表を作成・掲出。【拓殖バス】

3 施設ごとの情報提供機能の充実

- ・バスターミナルおびくるのデジタルサイネージの文字を大きく、バスの現在位置情報が分かるように改善。【十勝バス】
- ・バスターミナルおびくるの AI 窓口の機能改善。【十勝バス】

4 外国人観光客にわかりやすい案内表示の整備

- ・バス停留所の名称に英語表記を追加するなど、多言語化を推進。【十勝バス】

5 企画乗車券（バスパック等）の利用促進

- ・JTB と連携し、一部の日帰り路線バスパック商品のインターネット上での購入に対応。【十勝バス】
- ・「VISIT TOKACHI PASS」について、GW 及び夏休み期間中における十勝管内在住者への販売や、SNS・ホームページを通じた PR を実施。【十勝バス・拓殖バス】

基本方針4 利用促進施策の推進

1 モビリティ・マネジメント施策の展開

【小学生向け】

- ・市内在住の小学生を対象として、毎月第3日曜日に帯広市内区間に限り無料で乗車できる「バスに乗って見隊！」を実施。《継続》【拓殖バス】
- ・市内小学校において行政、バス事業者等による出前講座「交通環境学習」を実施。7校で14回開催、736名の児童が受講した。《継続》【市・バス事業者ほか】

【中学生向け】

- ・市内の中学3年生（14校、約1,300名）を対象に、路線バスの利用方法やバスの環境への優位性など、バス利用の動機付け情報を掲載した小冊子を作成・配布し、翌年度の高校通学時におけるバス利用の促進を図った。《継続》【協議会事業】

【高校生向け】

- ・市内の高校に通学する高校1・2年生（8校、約3,300名）を対象に、路線バスの利用方法やバスの環境への優位性など、バス利用の動機付け情報を掲載した小冊子を作成・配布し、通学時におけるバス利用の促進を図った。《継続》【協議会事業】

【転入者向け】

- ・市内転入者へ向けて、路線バスの利用方法や環境、健康等に関する動機付け情報を掲載した小冊子を作成、配布し、通勤や日常生活におけるバス利用の促進を図った。《継続》【協議会事業】

【高齢者向け】

- ・帯広地区のトヨタ販売店と共同で、70歳以上の大空地区住民を対象とした「70歳からの暮らしの足体験会」を実施。【十勝バス】
- ・市内の高齢者へ向けて、路線バスの利用方法や環境、健康等に関する動機付け情報を掲載した小冊子を作成、配布し、日常生活におけるバス利用の促進を図った。《継続》【協議会事業】

※帯広市・バス事業者等が連携して例年実施している帯広市高齢者学級を対象とした出前講座については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

【在住外国人向け】

- ・十勝インターナショナル協会からの依頼により、外国人向けのバスの乗り方教室を実施。【十勝バス】

様式第 5 - 2 (日本産業規格 A 列 4 番)

北交企第 25 号

令和 4 年 5 月 18 日

帯広市地域公共交通活性化協議会

会長 和田 亮一 殿

北海道運輸局長

(公印省略)

令和 4 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金

(地域公共交通調査事業) 交付決定通知書

令和 4 年 4 月 25 日付けで申請のあった「令和 4 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (地域公共交通調査事業)」については、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律 (昭和 30 年法律第 179 号。以下「適正化法」という。) 第 6 条第 1 項の規定により、下記のとおり交付することを決定したので、同法第 8 条の規定により通知する。

記

1. 補助金対象事業 地域公共交通調査事業

2. 補助対象経費及び補助金額は、次のとおりとする。

補助対象経費	金	3,599,080円	}	(内訳別紙)
補助金の額	金	1,042,625円		

3. 補助対象事業については、当該補助対象事業に係る地域公共交通調査事業の実施に関する事項を記載した計画に即して実施するものとする。

4. 補助対象事業者は、適正化法、同法施行令 (昭和 30 年政令第 255 号) 及び地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱に定めるところに従わなければならない。

令和4年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金
 (地域公共交通調査事業) 交付決定事業

補助対象事業者名 帯広市地域公共交通活性化協議会 (単位:円)

補助対象事業の 名称及び内容	補助対象事業の着手 及び完了予定日	補助対象経費	補助金額
【名称】 帯広市地域公共交通計画策定調査事業 【内容】 ・帯広市の概況整理 ・公共交通網の現状調査 ・公共交通の利用実態調査 ・帯広市地域公共交通計画(案)とりまとめ ・協議会開催	着手予定日: 交付決定日以降 完了予定日: 令和5年3月31日	3,599,080	1,042,625









【令和4年度 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業）交付申請書(案)（抜粋）】

様式第5-1 別紙

3. 事業の実施内容	
実施項目	実施内容
1. 帯広市の概況整理	<p>住民基本台帳、地域メッシュ統計等の既存のデータを用いたGIS分析により、社会基盤情報のデータ化を行う。</p> <p>（利用データ例：住民基本台帳、都市計画基礎調査、公共施設・病院・診療所、保育所・幼稚園・小中学校、地域包括支援センター、有料老人ホーム、商業施設、市営施設・観光施設、道路幅員、路線バスルート、バス停、道路交通センサス等）</p>
2. 公共交通網の現状調査	<p>公共交通網の実態に関する以下の項目について、事業者からの聴き取り等により調査する。</p> <p>1) 市内交通機関における運行状況の整理 路線バス、都市間バス、空港連絡バス、デマンド型交通、タクシー、JR、スクールバスなど、市内を運行する公共交通機関の運行状況を把握する。加えて、福祉輸送の実態を既存資料等から把握する。</p> <p>2) 車両台数及び車両設備等の整理 路線バス・デマンド交通車両台数、車両設備（バリアフリー車両等）を把握する。</p>
3. 公共交通の利用実態調査	<p>次の項目により利用実態調査を行う。</p> <p>1) 現況調査 路線バス利用実態及び収支状況、都市間バス及び空港連絡バス利用実態及び収支状況、デマンド型交通利用実態及び収支状況、市内タクシー利用実態、JR利用実態、スクールバス利用実態について調査する。</p> <p>2) 市内路線バス乗降調査 乗降センサー等が設置されている路線バスを対象に調査を実施し、路線別、停留所別、時間帯別の利用状況を把握する。</p> <p>3) 市内路線バスOD調査 市内バス路線のうち、利用者や運行便数が少ない、あるいは平均乗車密度が低いなどして運行効率化の必要性が高い路線を対象に調査を実施する。調査時期は、秋期の平日・休日各1日で実施する。</p> <p>4) 乗り継ぎ拠点周辺及び帯広厚生病院における路線バス利用実態調査 乗り継ぎ拠点として考えられる2地区で、路線バスの利用実態及び待合状況を調査する。また、帯広厚生病院の利用者を対象とした路線バス利用実態について、十勝地域公共交通活性化協議会で行う調査結果をもとに分析を行う。</p> <p>5) 路線バス利用者アンケート調査 路線バス利用者に対し、バス路線の再編やサービス向上等に関するアンケート調査を実施する。調査はOD調査と同時に実施する。</p>

様式第5-1 別紙

	<p>6) 住民ワークショップ</p> <p>地域住民の公共交通への関心を高めてもらうとともに、公共交通へのニーズや改善策、利用促進策等を把握することを目的とした、市内の3地区で住民ワークショップを実施する。</p>
<p>4. 帯広市地域公共交通計画(案)とりまとめ</p>	<p>上記調査に基づき、移動サービスの持続可能な提供の確保に関する問題点や課題を整理し、十勝地域の公共交通計画との連携や、上位計画・関連計画を踏まえつつ、地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿についての基本方針をまとめる。また、基本方針に沿って、移動サービスの持続可能な提供の確保に向けた目標や、事業の実施主体、計画の達成状況の評価に関する事項等を具体的に反映させた計画を取りまとめることとする。</p>
<p>5. 協議会開催</p>	<p>計画策定に向けた調査内容や、調査結果を受けて今後の交通体系のあり方について議論するための協議会を開催する。</p>

4. スケジュール				
実施項目	4月	9月	12月	3月
<p>・帯広市の概況整理</p>				
<p>・公共交通網の現状調査</p>				
<p>・公共交通の利用実態調査</p>				
<p>・帯広市地域公共交通計画(案)とりまとめ</p>				
<p>・協議会開催</p>				

帯広市地域公共交通網形成計画の総括について

(1) 帯広市地域公共交通網形成計画の概要

- 帯広市地域公共交通網形成計画(以下、「網形成計画」とします。)では、本市における公共交通について、街づくりの観点から見直し、誰もが利用しやすく持続可能な公共交通網の形成を目的として、4つの基本方針を掲げ、その実現に向けて7つの基本目標と目標達成のための各種施策を位置づけています。

【網形成計画構成イメージ】

基本 方針	1 公共交通のサービスレベル向上
	2 生活と交通の拠点の整備
	3 市民だけでなく、来街者にも分かりやすい情報提供の実施
	4 利用促進施策の推進

計 画 の 目 標	(1) 路線バス利用者数の増加
	(2) 公共交通での通学者数の増加
	(3) デマンド型交通利用者数の維持
	(4) 路線バスの観光目的利用者数の増加
	(5) 訪日外国人の路線バス利用者数の増加
	(6) 高齢者の路線バス利用者数の増加
	(7) ノーカーデー参加者数の増加

※(5)については、H30から指標データを確認できなくなったことから、参考指標として「訪日外国人向けVISIT TOKACHI PASS販売件数」を設定。

目 標 達 成 の た め の 施 策	1 公共交通のサービスレベル向上
	(1) バス路線の再編 / バスダイヤの見直し (2) 定時性の確保等に向けた検討 (3) 待合環境の改善に向けた検討 / 帯広駅バスターミナル待合所の老朽化対策 (4) ICカードシステム導入の検討
	2 生活と交通の拠点の整備
	(1) 乗り継ぎ拠点の設置 / デマンド型交通の利便性向上 / 多様な移動手段の連携による利便性向上
	3 市民だけでなく、来街者にも分かりやすい情報提供の実施
	(1) バスロケーションシステム等の普及 (2) 分かりやすいバスマップの作成 / 分かりやすい時刻表の作成 / 施設ごとの情報提供機能の充実 (3) 外国人観光客に分かりやすい案内表示の整備 / 企画乗車券(バスバック等)の利用促進
	4 利用促進施策の推進
	(1) モビリティ・マネジメント(MM)の実施 / ノーカーデーの取り組み

(2) 施策の実施状況

- 網形成計画では、平成30年の帯広厚生病院の移転に伴う路線・ダイヤの見直しや、帯広駅バスターミナルにおける「バスターミナルおびくる」の整備、「おびひろバスマップ」の作成・市内全戸配布、バスロケーションシステムやキャッシュレス決済の導入・普及など、目標達成に向けた様々な施策に取り組んできています。
- その一方で、乗り継ぎ拠点の設置など、検討にとどまった取り組みもあります。(詳細については、資料9「事業スケジュール・進捗状況一覧表」参照)

(3) 目標の達成状況

- 網形成計画における目標の達成状況(評価)については、下表のとおりです。
- 目標中、指標(7)「ノーカーデー参加者数」は達成していますが、その他の指標については未達成となっています。
- 未達成となった要因については、指標(7)を除いて公共交通利用者数に関連する指標となっており、新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛や出入国の制限、一斉休校などの影響を大きく受けたことが考えられます。(→年度別の達成状況など、詳細については資料10「評価指標達成状況」参照)

計画達成状況 評価指標	現況値 (H27)	目標値 (R3)	達成状況 (R3)	評価	
(1)市内完結路線の路線バス年間利用者数	3,350,075人	3,450,600人	2,491,948人	未達成	新型コロナによる外出自粛等が達成状況に大きく影響しているものと考えられます。
(2)通学定期券年間販売数	12,158人	12,523人	7,447人	未達成	新型コロナによる外出自粛等が達成状況に大きく影響しているものと考えられます。
(3)あいのりタクシー・バス年間利用者数	16,504人	16,510人	9,022人	未達成	新型コロナによる外出自粛等が達成状況に大きく影響しているものと考えられます。
(4)バスパック年間利用者数	5,195人	6,995人	2,139人	未達成	新型コロナによる外出自粛等が達成状況に大きく影響しているものと考えられます。
(5)バスロケーションシステム外国語表示閲覧数	1,130ビュー (H29)	9,000ビュー	-	-	件数集計できず、評価対象から除外
《参考》外国人観光客向けVISIT TOKACHI PASS販売件数	183人 (H29)	-	24人	-	新型コロナによる外国人観光客の大幅減少が達成状況に大きく影響しているものと考えられます。
(6)70歳以上路線バス年間利用者数 (高齢者おでかけサポートバス年間利用者数)	955,020人	1,002,800人	713,014人	未達成	新型コロナによる外出自粛等が達成状況に大きく影響しているものと考えられます。
(7)ノーカーデー年間参加者数	6,169人	6,350人	6,824人	達成	ノーカーデーが徐々に広がっており、通勤時の自家用車利用を控える行動変容が少しずつ進んできているものと考えられます。

(4) 今後の取り組みの方向性について

- 指標(1)～(6)について、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたことにより、目標値を大幅に下回る結果となりました。
- 感染症の今後の影響について、現時点では先行きが見通せない状況にありますが、感染症拡大防止に努めながら、アフターコロナにおける公共交通の利便性向上と利用促進に向けた取り組みについて協議を進めていく必要があります。
- なお、感染症の発生以前の直近(R1)の実績では、指標(2)・(3)が目標値を10%以上下回っていることから、特に高校生や市内農村部における利用促進に向けた取り組みについて協議・検討を進めていく必要があるものと考えられます。

帯広市地域公共交通網形成計画 事業進捗状況一覧表

令和4年3月末現在

基本方針	施策項目	施策メニュー	実施主体	事業スケジュール・進捗状況				
				H29	H30	R1	R2	R3
(1) 公共交通のサービスレベルの向上	利用実態やニーズを踏まえた効率的な路線の再編とダイヤの見直し	バス路線の再編 バスダイヤの見直し	交通事業者	見直し内容検討 一部見直し実施	路線・ダイヤ見直し実施(帯広厚生病院移転関連等)	JR・都市間バスとの接続改善等を目的とした路線・ダイヤ見直し実施	状況に即した路線・ダイヤ見直し検討、随時実施【 継続 】	運行収支改善を目的とした路線・ダイヤ大幅見直し(R3.7.1+勝バス)
	定時性の確保等	定時性の確保等に向けた検討	交通事業者、帯広市	遅延状況の把握、状況に応じた対応策の検討・実施【 継続 】				
	待合環境の改善	待合環境の改善に向けた検討	交通事業者、帯広市	イオン店舗内待合スペース設置	郵便局内への待合スペース設置 バス停上屋・ベンチの設置	バス停上屋の設置	イオン店舗内へのデジタルサイン設置 バスターミナルおびくるデジタルサインの表示内容改善【 継続 】 デジタルサイン設置施設の拡大及び内容拡充【 継続 】 バスターミナルのりばの再編検討【 継続 】	
		帯広駅バスターミナル待合所の老朽化対策	帯広市、交通事業者	「バスターミナルおびくる」整備【 H29完了 】				
新しい運賃制度の検討	ICカードシステム導入の検討	交通事業者	ICカードシステム導入の検討 導入実証実験準備	実証実験実施、本格導入検討【 継続 】 【 QRコード決済システム 】 導入検討	バスターミナルおびくる窓口でのQRコード決済対応	QRコード決済、スマホアプリによる定期券等の利用促進 路線バス全車両での運賃QRコード決済対応		
(2) 生活と交通の拠点の整備	生活交通の確保	乗り継ぎ拠点の設置	交通事業者、帯広市	拠点候補施設への乗り継ぎ拠点設置検討(H28~) MEGAシティ・ネット駐車場内のバス車両乗入れ検証(~R2)				
		デマンド型交通の利便性向上	帯広市、交通事業者	【 乗客専用デマンド交通の利便性向上 】 あいのりインターネット予約開始【 H29実施 】 既存デマンド型運行の改善【 継続 】	【 市街地における新規導入 】 導入検討【 継続 】			大空地区における実証運行【 継続 】 (おおぞライナー)AIオプティミズム導入検討
		多様な移動手段の連携による利便性向上	交通事業者	観光等でのバス・タクシー連携実施【 継続 】 生活交通におけるバスとタクシー・自転車との連携検討【 継続 】 バスとRとの連携検討・実施【 継続 】				
(3) 市民だけでなく、来街者にも分かりやすい情報提供の実施	交通情報発信の機能充実	バスロケーションシステム等の普及	交通事業者	(H28~バスロケーションシステム「PINA」、乗り換え情報案内システム「もいひ」導入) バスロケーションシステム内容改善の検討、実施【 継続 】 バスロケーションシステムの普及拡大、利用促進【 継続 】	Googleマップ路線検索対応 事業者HPにおけるオープンデータ(GTFS)公開	乗換案内コンテンツプロバイダ各社での路線検索対応 GTFS-RTIオープンデータ構築・リアルタイム運行情報提供	バスロケーションシステム「おびひろマップ」、バス停情報表示システム「バス停時刻表+」提供開始 Googleマップ、リアルタイム運行情報掲載	
	バス利用の基本情報の提供	分かりやすいバスマップの作成(継続)	帯広市、交通事業者	「おびひろマップ」更新・配布	リニューアル版「おびひろバスマップ」作成・配布【 H29完了 】			
		分かりやすい時刻表の作成 施設ごとの情報提供機能の充実	交通事業者	内容改善⇒作成、配布(随時)【 継続 】 内容検討				
	インバウンド観光への対応	外国人観光客に分かりやすい案内表示の整備	交通事業者	一部バス停留所の多言語化対応	一部バス停留所、案内放送の多言語化対応【 継続 】 インバウンド観光対応の検討、随時実施【 継続 】	AI窓口の機能改善【 継続 】 情報提供手段、内容の拡充(随時)【 継続 】	Googleマップ経路検索の多言語対応	
企画乗車券(バスパック等)の利用促進(継続)		交通事業者	事業者HP、バス待合所等でのPR・利用促進【 継続 】 SNSによるPR・利用促進【 継続 】	バスパック商品のインターネット購入対応				
(4) 利用促進施策の推進	モビリティ・マネジメント(MM)施策の展開	小学生向けMMの実施(継続)	帯広市、交通事業者	出前講座「交通環境学習」の実施【 継続 】 「バスにのって見隊!」(第3日曜日・市内区間無料)の実施(拓殖バス)【 継続 】				
		中学生向けMMの実施	帯広市、交通事業者	バス利用動機付けツール(小冊子)作成・配布 ツール内容改善、配布【 継続 】				
		高校生向けMMの実施	帯広市、交通事業者	バス利用動機付けツール(小冊子)作成・配布 ツール内容改善、配布【 継続 】				
		住民向けMMの実施	帯広市、交通事業者	バス利用動機付けツール(小冊子)作成・配布 ツール内容改善、配布【 継続 】				
		高齢者向けMMの実施(継続)	帯広市、交通事業者	高齢者学級出前講座の実施【 継続 】				
		ノーカーダーの取組(継続)	帯広市、交通事業者	取組の継続実施、普及啓発【 継続 】				

※凡例… : 実施済・完了 / : 実施済・継続 : 検討中・継続

帯広市地域公共交通網形成計画 評価指標達成状況

基本方針1 公共交通のサービスレベル向上							
(1) 路線バス利用者数							
把握する指標	市内完結路線における路線バス年間利用者数						
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
目標値(人)	-	-	3,369,900	3,389,900	3,410,000	3,430,200	3,450,600
実績値(人)	3,350,075	3,356,486	3,379,745	3,392,443	3,445,013	2,580,816	2,491,948
達成率	-	-	100.3%	100.1%	101.0%	75.2%	72.2%
(2) 公共交通での通学者数							
把握する指標	通学定期券年間販売数						
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
目標値(人)	-	-	12,230	12,303	12,376	12,449	12,523
実績値(人)	12,158	11,373	10,884	12,407	9,813	7,159	7,447
達成率	-	-	89.0%	100.8%	79.3%	57.5%	59.5%

基本方針2 生活と交通の拠点の整備							
(3) デマンド型交通利用者数							
把握する指標	あいのりタクシー及びあいのりバスの年間利用者数						
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
目標値(人)	-	-	16,510	16,510	16,510	16,510	16,510
実績値(人)	16,504	16,988	17,136	15,782	14,639	10,626	9,022
達成率	-	-	103.8%	95.6%	88.7%	64.4%	54.6%

基本方針3 市民だけでなく、来街者にも分かりやすい情報提供の実施							
(4) 路線バスの観光目的利用者数							
把握する指標	バスパック年間利用者数						
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
目標値(人)	-	-	5,795	6,095	6,395	6,695	6,995
実績値(人)	5,195	5,414	6,573	6,348	7,093	2,145	2,139
達成率	-	-	113.4%	104.2%	110.9%	32.0%	30.6%
(5) 訪日外国人の路線バス利用者数							
把握する指標	バスロケーションシステムの外国語表示閲覧数						
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
目標値(ビュー)	-	-	1,800	3,600	5,400	7,200	9,000
実績値(ビュー)	-	-	1,130	-	-	-	-
達成率	-	-	62.8%	-	-	-	-

※システム開発元において件数集計ができなくなったため、平成30年度以降の件数不明。

《参考数値》 外国人観光客向けVISIT TOKACHI PASS販売件数							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
実績値(件)	-	-	183	713	644	49	24

※平成29年度は平成29年11月以降の数値。

基本方針4 利用促進施策の推進							
(6) 高齢者の路線バス利用者数							
把握する指標	70歳以上の路線バス利用者数(高齢者おでかけサポートバス年間利用者数)						
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
目標値(人)	-	-	964,385	973,841	983,391	993,034	1,002,800
実績値(人)	955,020	921,331	942,181	998,644	978,718	723,812	713,014
達成率	-	-	97.7%	102.5%	99.5%	72.9%	71.1%
(7) ノーカード参加者数							
把握する指標	ノーカード年間参加者数						
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
目標値(人)	-	-	6,210	6,240	6,280	6,320	6,350
実績値(人)	6,169	5,906	6,276	5,647	6,314	6,882	6,824
達成率	-	-	101.1%	90.5%	100.5%	108.9%	107.5%

※平成30年度については、北海道胆振東部地震により9月分未実施。

令和4年度 事業計画（案）

1 地域公共交通計画策定に向けた取組の実施

- ・ 令和5年度の「帯広市地域公共交通計画」策定に向けて、以下の取組を実施する。
 - (1) 帯広市地域公共交通計画の策定に向けた交通実態等調査
 - (2) 帯広市地域公共交通計画素案の作成
 - (3) 国庫補助金に関すること

2 モビリティ・マネジメント施策の展開

- ・ 中高生・転入者及び高齢者に向けたモビリティ・マネジメントの取組を継続実施する。

3 協議会の開催

- ・ R4.4.19 第1回協議会
《協議事項》
協議会規約等改正／学識経験者招聘／計画策定スケジュール／
国庫補助申請

- ・ R4.7. 第2回協議会 《今回会議》

- ・ R4.7.22 第3回協議会
《協議事項(予定)》
市内公共交通維持確保に向けた取り組みについて／
計画策定調査業務委託内容について 等

- ・ R4.8 月中旬 第4回協議会
《協議事項(予定)》
調査業務委託事業者報告／調査内容・スケジュール説明 等

- ・ R4.11 月下旬 第5回協議会
《協議事項(予定)》
調査結果中間報告 等

- ・ R5.2 月 第6回協議会
《協議事項(予定)》
調査結果報告／計画素案確認 等

令和4年度 収支予算書(案)

収入の部

(単位:円)

款	項	目	前年度予算額	本年度予算額	増 △ 減	備 考
負担金	負担金	負担金	110,000	2,676,000	2,566,000	バス事業者負担金 49,000円 帯広市負担金 2,627,000円
補助金	補助金	補助金	0	1,042,625	1,042,625	地域公共交通確保維持改善 事業費補助金(地域公共交通 調査事業) 1,042,625円
諸収入	雑入	雑入	9,326	54,621	45,295	前年度繰越金 54,621円
計			119,326	3,773,246	3,653,920	

支出の部

(単位:円)

款	項	目	前年度予算額	本年度予算額	増 △ 減	備 考
運営費			13,946	176,246	162,300	
	会議費	会議費	0	110,540	110,540	学識経験者旅費・報酬 旅費 67,080円 報酬 34,000円 協議会資料用紙等 消耗品費 9,460円
	事務費	事務費	13,946	65,706	51,760	計画策定打合せ 旅費 33,540円 協議会事務用品 消耗品費 9,926円 郵送料 3,000円 振込手数料 9,240円 収入印紙 10,000円
事業費	事業費	事業費	105,380	3,597,000	3,491,620	地域公共交通計画策定調査 委託費 委託料 3,498,000円 モビリティ・マネジメントツール作成費 消耗品費 99,000円
計			119,326	3,773,246	3,653,920	